

私学ぐんま

10号
2012

—公益財団法人移行記念号—



第42回北関東信越ブロック大会（平成23年8月29日～30日）

目次

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| ●着任のごあいさつ…………… 2 | 2011年の生涯学習を振りかえって…………… 5 |
| 群馬県総務部長 岡野弘文 | |
| ●理事長ご挨拶…………… 2 | ●平成24年度私学団体事業計画…………… 6～7 |
| 群馬県私学振興会 理事長 森本純生 | ●新公益法人制度合同研究会からのご報告…………… 8 |
| ●平成24年度事業計画…………… 3 | ●群馬県私学振興会役員名簿と各委員会名簿…………… 9 |
| ●研修報告 | ●県人事異動…………… 10 |
| 小学生が大学生を体験…………… 4 | ●表彰受賞者…………… 10 |
| 中堅教員研修に参加して…………… 4 | ●表紙について…………… 10 |
| 野外研修を終えて…………… 5 | ●編集後記…………… 10 |



着任のごあいさつ

群馬県総務部長 岡野弘文

本年4月1日付けで総務部長に着任いたしました岡野弘文でございます。これからの群馬県を担う子どもたちの私学教育に携われますことに、大変喜びを感じております。

また、このたび私学振興会が公益財団法人に移行認定されましたこと、誠にめでたうございます。私学団体が公益財団法人として認定されたのは、東京都に次いで群馬県が全国で2例目であります。これは、県内私立の幼稚園、中学、高校、大学及び専修各種学校というすべての学種を対象とし、これまで実施されてきた数々の私学振興事業が、改めて「公益事業である」と高く評価されたことによります。公益財団法人として新たな一歩を踏み出す私学振興会の皆様には、今後も群馬県の私学発展のためにお力添えをいただければ幸いです。

さて、今日の私立学校を取り巻く環境は、少子・高齢化、情報化、国際化など様々な変化に直面し、大きく変わりつつあります。特に長期的かつ急激な園児・児童・生徒の減少は、私学経営にとって大変厳しい状況となっております。そういった中で、私立学校がそれぞれの建学の精神を発揮して、特色ある教育を実践するために、私立学校教育の専門支援機関である私学振興会の重要性はますます高まっております。

県といたしましても、引き続き厳しい財政状況の中ではありますが、私立学校教育の充実・発展にご尽力されている私学の皆様に、少しでもお役に立てますよう精一杯努力をしておりますので、私学振興会の皆様には、今後とも私立学校教育の振興及び地域における教育・文化の高揚にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



理事長ご挨拶

理事長 森本純生

財団法人群馬県私学振興会は、「公益財団法人」への移行を目標として準備を進めてまいりましたが、平成24年3月21日に群馬県から認定書の交付を受け、4月1日に「公益財団法人群馬県私学振興会」設立登記を完了いたしました。退職資金の給付事業をはじめとする私学振興事業を実施している団体は全都道府県にありますが、東京都に次ぎ全国で2番目に公益認定をいただくことができました。

社団法人群馬県私学厚生協会と統合して5年になりますが、この間は、新公益法人制度の関連法が施行され、新法人への移行期間でもありました。

役員の皆様には、会の運営や新公益法人制度合同研究会などにご尽力をいただきました。また、会員の皆様にも多大なご支援・ご協力をいただいたおかげで、順調に公益財団法人移行ができましたことを心から感謝を申し上げます。

平成24年5月28日には、公益財団法人移行後の最初の理事会及び評議員会が開催されました。第1回評議員会では、任期満了による理事の選任が行われ、その後の理事会では、選任された理事の互選の結果、理事長には私が、また、副理事長には各学種の代表者がそれぞれ就任いたしました。

私立学校を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、役職員一同一致協力して県内私立学校における教育環境の充実・向上及び県民の修学機会の確保を支援したいと考えておりますので会員皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

平成24年度 事業計画

◆施設・設備整備資金融資あっせん事業

資金内容	校舎及び附帯施設の整備事業 校具・教具等設備の整備事業 校地の取得及び造成（利子補給対象外） 本会が特に必要と認めた事業				融資金額	2,000万円（特例：4,000万円）
					融資期間	6年以内（融資年度は措置）
					融資利率	0.75% 群馬県より0.60%の利子補給あり。なお、土地については利子補給がないため1.35%
申し込み	受付時期	5月上旬	8月上旬	11月上旬	返済方法	元金均等10回償還（3月と9月）
	あっせん時期	7月上旬	10月上旬	12月中旬		

◆経営資金貸付事業

資金内容	学校の運営に必要な施設整備資金以外の資金	融資金額	200万円（特例：400万円）
申し込み	毎月15日までに申込書提出	融資期間	1年以内
返済方法	期限一括返済	融資利率	0.15%
取扱機関	群馬県私学振興会		

◆広報活動事業

会報発行	「私学ぐんま」私学が行っている諸事業を周知し、理解を深めるため会報を発行します。		
発行予定	6月・11月	配布先	群馬県内私学教職員等
新聞掲載	「群馬の私学」群馬県の私学を県民の方々に広くアピールするため新聞に掲載します。		
掲載予定	3月		

◆私立幼稚園教諭野外教育研修（共催 群馬県私立幼稚園協会）

開催日	6月9日～10日	対象者	幼稚園教諭
幼稚園において野外研修を実施するためには実践的体験が必要である。そこで教諭自らが野外において必要な基礎的知識や技術・具体的指導方法について実践をとおり研修します。			

◆私立高等学校中堅教諭研修（実施 群馬県私立中学高等学校協会）

開催日	8月9日～10日	対象者	高等学校中堅教諭
中堅教員としての心構え・在り方等について理解を深めるとともに、中堅教員として求められる使命感の高揚並びに資質向上を図るため研修します。			

◆学校法人会計基準研修（共催 群馬県・日本公認会計士協会群馬県会）

開催日	2月予定	対象者	会計事務担当者・責任者
会計事務担当者等が学校法人会計基準に対する理解を深めることにより、学校経営の合理化・適正化を図るため研修します。			

◆理事長・設置者等研修

開催日	1月予定	対象者	理事長・設置者
理事長・設置者等に対して経営に関する情報提供を行うことにより私立学校の経営安定を図るため研修します。			

◆生涯学習促進事業（実施 群馬県専修学校各種学校協会）

開催日	7月～11月予定	対象者	県民の方々
地域における生涯学習の推進を図り、私立学校教育の振興に資するため、学校の実施する公開講座に対し、補助金を交付します。			

◆私立大学スポーツ大会事業

開催日	10月6日～7日	対象者	群馬県私立大学生
群馬県私立大学協会と共催し、スポーツ大会の補助金を交付します。			

◆私立高等学校生徒指導連絡会議（共催 群馬県・群馬県私立中学高等学校協会）

開催日	7月6日	対象者	高等学校生徒指導担当教諭
生徒指導上の諸問題について、現況の把握・情報交換及び研究協議等を行い、私立高等学校の生徒指導担当教諭の指導力の向上を図るため研修します。			

小学生が大学生を体験 – 『こども大学in桐生』の紹介 –

桐生大学 瀬野尾 章

桐生大学・桐生大学短期大学部では、小学4年生から小学6年生を対象とし、大学生活の一端を体験できるイベント『こども大学in桐生』を開催しております。このイベントでは、大講義室で大学教授に教わる講義の他、小グループに分かれての実習、学生レストランでのランチ体験、模擬学生証の発行など、様々な大学生体験が用意されています。平成22年度から毎年7月に行われており、毎回県内外の小学生約90名が参加しています。

EUCD.NET（世界子ども大学ネットワーク）によると、“子ども大学”は、ヨーロッパを中心に世界で約200以上の大学で開催されております。しかしながら、“子ども大学”の、日本における実施例は少なく、また、本学のように大学単独で継続的に主催されているものは全国的に僅かとなっています。“子ども大学”の意義は、大学教員が大学の講義室で、小学生の知的好奇心に基づいた講義を展開することにあります。『こども大学in桐生』では、調理体験や大学探検（フィールドワーク）等、その回毎にアレンジを加えながらも、講義や全体のコンセプトは、起源とされるドイツのミュンスター大学に可能な限り近づけた形でイベントが企画・運営されております。

第1回目の『こども大学in桐生』では、「みること、考えることそして発見」と題して、前半は大きなスクリーンを見ながら、大学生が受けるものと同じ形式での講義を体験、後半は6つのグループに分かれて6つの演習を体験しました。第2回目の『こども大学in桐生』では、「たまごの不思議を発見しよう」と題し、鶏卵の構造や鶏卵の形成過程について講義が行われました。いずれの講義時間も、大学生と同じ90分間で行われました。



子ども大学の魅力の1つは、教育制度上では離れた位置に属する小学生と大学教授が教育技法の1つである講義を通して、「好奇心旺盛」という共通の観点の下では、優れたマッチングを示すという部分にあります。公開講座等で社会人に大学を活用していただくことはもちろんですが、本学では、小学生にも大学の知的資源を還元させて頂く機会として、『こども大学in桐生』という取り組みを行っております。

※『こども大学in桐生』は平成23年度より、みどり市との包括連携事業の1つとして同市の協力を得ています。

中堅教員研修に参加して

明照学園樹徳高等学校 内田 富明



1泊2日と短期であったが、内容が濃く収穫の多い研修となった。

群馬県総務部学事法制課、関課長は、教師は生徒たちに教科の知識を教えるだけでなく、もっと根源的な問題を考えさせる機会を与えるべきだと論じられ、感銘を受けた。

共愛学園の大川校長先生

は、中堅教員はどうあるべきか、についてご自身の経験を基に講義された。パワーポイントを用いた、明晰で情熱的な講義で、今後の指針として非常に参考になった。高崎市教育長の飯野先生は、学校における危機管理の方法について講義された。学校は、その内

外で様々な危機的場面に直面するが、それらへの対処の仕方や法的な裏付けなどを学んだ。危機管理において最も大切なことは、危機が生じないようにすることであると先生は繰り返し説かれた。朝倉先生と奥様、そして松尾氏によるクラシック音楽の演奏は、格調高く、しかも非常に楽しいものであった。予期していなかったプログラムだったのでとても驚いたが、この研修をさらに思い出深いものにした。

2日目の東京福祉大学、手島教授の講義では、教育力が不足している親たちへの支援をどう行っていくべきかを、講義とグループ演習の両方を通して学んだ。グループ演習により、知識として提示されていることを、実際に経験しながら習得することができた。午後の研究協議では、学習意欲が低下した生徒をどう指導するかなど、3つの研究テーマについて討議した。私は司会となり、進行で苦労したが、他の先生方の発言に助けられ、また研修委員の先生方に有益なご助言を戴いたおかげで、意義深い協議の場となった。

この研修で他校の多くの先生方と出会い、様々なことを話し合い、交流することができた。当研修を準備し、運営していただいた先生方や職員の方々に心から感謝致します。

野外研修を終えて

明德幼稚園 坂田 悠

6月25日、26日の2日間、野外研修会に参加させて頂きました。初めての参加だったので、どのようなことをするのだろうという不安と期待がある中での研修会でした。

赤城少年自然の家に着き、午前中はアイスブレッキングという仲間作りゲームを行いました。このゲームは自己紹介も兼ねていたので初めて会った他園の先生方ともすぐに打ち解け合うことが出来ました。午後のポイントハイクは雨のため残念ながら中止になってしまいましたが、搬庫で様々な感覚を使った感覚ゲームや人間知恵の輪など、皆で考えながら解いていくゲームを行いました。今回教えて頂いたこれらのゲームは幼稚園の子どもたちと遊べるものだけでなく、保護者の方たちも楽しく参加出来るゲームもあり、自園でも使ってみたいと感じました。ゲームは班対抗だったので皆で協力し合いながら心から楽しむことが出来、どの先生方も童心にかえり笑顔がはじけていました。

1日目の最後はお泊まり保育の意見交換会を行い、自園のお泊まり保育の資料だけでなく、他園の資料も頂き内容や特徴などのお話も聞け、とても勉強になることばかりでした。またそれと共に自園のお泊まり保

育の内容やねらいについてももう一度しっかり見直していきたいと思いました。

野外炊飯では夕食はカレー、昼食はライスピザ作り挑戦しました。班ごとに話し合い、分担し、協力して作り上げることの大切さを体験させて頂きました。皆で一つのものを作り、食べた時の美味しさは忘れることの出来ない大切な思い出です。

この2日間を通して、自然に触れ、他園の先生方との貴重な交流等、普段の幼稚園生活では経験出来ない多くのことを学べたことが本当に嬉しく思います。この研修会での経験を今後に生かし、より良い幼児教育のため、技術の向上を目指していこうと思います。来年も是非参加をさせて頂きたいです。



2011年の生涯学習 を振りかえって

財団法人 昭和服装専門学校 大淵雅枝

県専修学校各種学校協会と県私学振興会の共催で平成23年度生涯学習促進事業を本校で実施しました。同事業は、昭和60年度から始まりましたが、本校もその頃から参加させて頂き、好評のうちに現在に至っております。

本年度は、7月24日、31日、8月7日のいずれも日曜日の午前9時から正午まで実施しました。本校では毎年ぬいぐるみ作成を行っていますが、今年も定員いっぱいの15名の参加者と共に「おしゃまな子猫」を作りました。

1日目は、型紙を切り抜き、布の上にとめつけ、裁断をして縫製に入りました。2日目は、縫製を終了し、胴、手、足、頭に綿を入れ、それぞれの綿入口をかかりました。そして3日目は、全体を組み立ててから、1番大切な顔作りに取り組みました。ぬいぐるみ作りでは、その表情に作り手の気持ちが鏡のように映し出されます。怖い顔にならないように、2匹の子猫が楽しそうにお話ししているように作ってくださいと皆さんに制作イメージを説明しました。でもそんな心配は必要ありませんでした。3日間の講習を通して、参加者

皆さんがとても仲良くなり、笑い声の響く教室の中で、当初描いたイメージ通りの可愛らしい子猫が次々とできあがりました。

このように毎年来てくださる方達のお友達の輪も広がって、この講習の案内を楽しみに待っておられる方がたくさんいらっしゃいます。20年以上続くこのぬいぐるみ講習では、チワワ、クマ、ねこ、パンダ、ネズミ、ウサギ、子犬、犬の枕、かいじゅうくん等数々の動物を作ってきました。素材も軍手や布地、タオル、バスタオル等いろいろ工夫を重ねて手触りの良い温かな風合いの物を作ってきました。中でも、もっとも制作回数の多い「くま」は、手・足・首にジョイントを使って自由に動くようにしたり、手足だけが動くようにボタンで調節したりと、様々な種類の作品を作っています。

参加者の皆さんからは、作る喜び、学ぶ喜びを味わえてうれしいとの感想を述べていただいています。思い出の3日間となるように、最終日には、ご自身の作品と一緒に写真を撮り、皆で反省会を行って終了します。来年も楽しみにして下さっている皆さんの期待に応えられるように、新たなぬいぐるみの構想を練り始めております。



平成24年度 私学団体 事業計画

【群馬県私立大学協会】

事業名	実施年月日	実施内容	
総会	群馬県私立大学協会総会	4月16日	群馬県公社総合ビル
会議	代表者会議	2月初旬	〃
	広報担当者会議	2月下旬	〃
	高等教育懇談会	下半期	未定
大会	私立大学スポーツ大会	10月6日・7日	ALSOKぐんまスポーツアリーナほか
広報	PRコマースの放映	6月上旬から3か月間	群馬テレビ
	学生募集広告及びポスター発行	5月下旬・10月中旬	上毛新聞

【群馬県専修学校各種学校協会】

事業名	日程	事業の内容	
会議	71回定時総会	5月21日	平成23年度事業報告・収支計算
	72回定時総会	3月下旬	平成25年度事業計画・収支予算
	理事会・正副会長会議	随時	当面の案件協議
広報事業	学校ガイドの発行	1月	教師の進路指導用に学校ガイドを作成、県内高校へ配布 24年度会員校情報、協会事業紹介 2013年度学校ガイド原稿を利用 それ以外の変更は自己申告により変更
	ホームページ更新	6月	
	新聞広告	7月 3月	協会活動・専門学校の紹介 「群馬の私学」掲載協力（上毛新聞社）
検定及 認定 事業	技術検定	1月20日	服飾教員資格認定のため基礎資格検定 検定試験（会場・各実施校）
		2月20日	技術検定合格認定 （日本ファッション教育振興協会等）
	教員資格認定	1月23日	服飾校教員の資格認定 群馬各服飾教員資格認定委員会
		3月1日	群馬県各種学校（服飾）教員資格認定（群馬各服飾教員資格認定委員会認定）
		3月31日	専門学校准教員認定 （専修学校教育振興会認定）
		6月9日	理論・製図試験（会場・公社総合ビル）
		9月8日	3級実技試験（会場・前橋文化服装専門学校）
		6/23、11/17	検定試験（会場・公社総合ビル）
		7/21、12/8	検定試験（会場・公社総合ビル）
		7/7、1/12	検定試験（実施：未定）
講習会	教育講習		服飾校生を中心とした教員としての基礎研修会
		7月22日・23日	基礎教育講習（公社総合ビル）
		7月23日	准教員教育講習（公社総合ビル）
教員免許 交付 事業	専修学校教員免許交付		専各校の現職教員には教員認定証授与。専各校教員にふさわしい一般社会人には、専修学校教員資格者として認定し認定証を授与する。
		9月15日・16日	講習会（公社総合ビル）
		10月28日	教員免許交付 （専修学校教員資格認定機構認定）
職業教育 連携 事業	職業教育推進事業	6月～9月	職業教育機関としての専各校の状況をテレビ、ラジオ、新聞紙上で紹介
	職業体験学習事業	随時	高校との話し合いで各会員校が独自に実施
研究会及び 研究会	教職員研修	3月下旬	会員校の教職員研修
	設置者研修	1月下旬	会員校の設置者・校長等研修
生涯学習 促進 事業	生涯学習促進事業		地域住民が意欲をもって生活するために、開催校の技術・技能・教育設備を提供し独自性のある講座を開催する
		6月中旬	関係機関等への広報活動
ブロック大会	北関東信越ブロック大会	7月～1月	開放講座（実施校）出前講座も実施
		8月21日～22日	第43回北関東信越ブロック大会（茨城：ホテルレイクビュー水戸）

【群馬県私立中学高等学校協会】

事業名		実施年月日	会場等
総 会	群馬県私立中学高等学校協会総会・定例会	5月16～17日	渋川市伊香保町塚越屋七兵衛
		3月8日	樹徳高等学校
定 例 会	7月定例会	7月11日	上毛会館
	9月定例会	9月7日	前橋育英高等学校
	11月定例会	11月9日	常磐高等学校
	1月定例会	1月18日	新島学園中学校・高等学校
会 議	私立高等学校生徒指導連絡会議	7月6日	群馬県公社総合ビル
	県中学校長会進路指導部との連絡協議会	6月20日	上毛会館
研 修	教務担当者講習会	11月開催予定	群馬県公社総合ビル
	中堅教員研修	8月9～10日	渋川市伊香保町「ホテル天坊」
	教科研修（保健体育）	9月20～21日	桐生第一高等学校
	管理職研修	7月4日	八雲学園中学校・高等学校
	初任者研修北関東地区研修会	6月13日～15日	渋川市伊香保町「ホテル天坊」
適 性 検 査	私立中学・高等学校教員適性検査	8月18日	高崎商科大学
	県私立中学高等学校保護者会連合会総会	5月29日	ラシーネ
保 護 者 会	県私学保護者会連合会理事会・学校見学会	10月24日	常磐高等学校
	同上	2月15日	関東学園大学附属高等学校
	関東地区私学保連理事会	6月27日	メトロポリタン高崎
	関東地区私学保連代表者会議・研修会	8月29日	メトロポリタン高崎

【群馬県私立幼稚園協会】

開催事業	実施日	会場	主催	備考
新規採用教員研修会（前期Ⅰ）	24.4.3(火)	群馬県公社総合ビル	群私幼（県補助事業）	
新規採用教員研修会（前期Ⅱ）	24.4.4(水)	群馬県総合教育センター	群馬県、県教委	公私合同
群私幼通常総会	24.5.14(月)	マーキュリーホテル	群私幼	
新規採用教員研修会（前期Ⅲ）	24.5.21(月)	群馬県総合教育センター	群馬県、県教委	公私合同
群馬県幼稚園教育課程研究協議会	24.5.28(月)	群馬県総合教育センター	群馬県、県教委	
群私幼PTA連合会通常総会	24.5.30(水)	群馬県公社総合ビル	群私幼・PTA連合会	
主任研修会	24.6.6(水)	群馬県公社総合ビル	群私幼	
野外教育研修会	24.6.9(土)・10(日)	国立赤城青少年交流の家	群馬県私学振興会	ニューリーダー協力（1泊2日）
新規採用教員研修会（中期Ⅰ）	24.7.23(月)・24(火)	群馬県勤労福祉センター	群私幼	日帰り
幼稚園バス運転手講習会	24.7.24(火)	赤城自動車教習所	群私幼	
夏季研修会（中級講座）	24.7.26(木)・27(金)	伊香保天坊	群私幼	1泊2日
新規採用教員研修会（中期Ⅱ）	24.7.30(月)～8.1(水)	県立妙義青少年自然の家	群馬県（県委託事業）	2泊3日：公私合同
関東地区教員研修（神奈川）大会	24.8.2(木)・3(金)	パシフィコ横浜国立大ホール	全日私幼連関東地区会	
夏季研修会（初級講座）	24.8.6(月)・7(火)	伊香保天坊	群私幼	日帰り
夏季研修会（上級講座）	24.8.8(水)・9(木)	伊香保天坊	群私幼	1泊2日
第3回 幼児教育実践学会	24.8.23(木)・24(金)	東京家政大学	全日私幼連	
教員採用適性検査	24.8.25(土)	高崎商科大学	群私幼	
設置者・園長全国研修大会	24.10.22(月)・23(火)	千葉県：浦安市舞浜	全日私幼連	
新規採用教員研修会（後期Ⅰ）	24.11.1(木)	若葉幼稚園	群馬県（県委託事業）	
群馬県幼稚園教育課程研究協議会	24.11.2(金)	群馬県総合教育センター	群馬県、県教委	
関東地区代表者協議会（茨城）	24.11.7(水)・8(木)	オークラフロンティアつくば	関東地区会	1泊2日：代表者のみ
設置者・園長研修会①	24.11.13(火)・14(水)	伊香保福一	群私幼	1泊2日
新規採用教員研修会（後期Ⅱ）	25.1.17(木)	群馬県総合教育センター	群馬県	公私合同
研究指定園研究発表	25.1.23(水)	ぐんま幼稚園	群私幼（県補助事業）	
群私幼教職員冬季研修大会	25.1.30(水)	前橋市民文化会館	群私幼	
学校法人会計基準研修会	25.2.6(水)	群馬県庁	県・他2団体	
設置者・園長研修会②・臨時総会	25.2.26(火)	群馬県公社総合ビル	群私幼	
幼保合同研修会	未定	未定	群馬県、県教委	

※この日程は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※県幼児教育センター関連研修については研究部事業計画を参照。

【協力事業】

期 日	開催事業	会 場
平成24年 5月10日(木)	幼稚園長等研修①	群馬県総合教育センター
5月16日(水)	幼稚園等5年経験者研修①	群馬県総合教育センター
6月12日(火)	幼稚園等5年経験者研修②	群馬県総合教育センター
6月19日(火)	幼稚園長等研修②	公開保育
10月31日(水)	幼稚園等5年経験者研修③	群馬県総合教育センター



新公益法人制度合同研究会からのご報告

委員長 須藤 賢一

群馬県私学振興会では、平成19年4月1日に社団法人群馬県私学厚生協会と合併するに当たり、平成20年12月1日に施行される公益法人改革関連法へ対応するため、公益法人制度合同研究会を設置し、公益財団法人への移行を目指し検討を進めてまいりました。

そして、平成23年3月29日開催の理事・評議員会で公益財団法人への移行方針を決定し、申請の準備に入り、研究会や理事・評議員会による役員を選任及び定款案の作成等の諸手続きや県当局との協議を経て、10月17日に臨時の理事・評議員会を開催し移行認定申請の決議を行い、10月24日に群馬県知事あてに認定申請書を提出いたしました。11月24日には群馬県公益認定等審議会から「群馬県私学振興会」は「公益認定が相当である」旨の答申を頂き、平成24年3月21日群馬県知事から公益認定書が交付され、4月1日に公益財団法人群馬県私学振興会の設立を登記いたしました。

申請に当たりましては、①私学振興会は、先人や群馬県当局の尽力により県内私立の大学から幼稚園までのすべての学種の会員により構成され、県内学校法人及び私立学校教職員の大多数が会に加入しており、退職資金の給付事業をはじめとする多くの私学振興事業を実施していること。②当会の主要事業である退職手当資金等給付事業は、会員校からの出資金や県からの補助金を運用し、会員に退職資金を交付しているが、本事業により私立学校は、退職金制度を維持することができ、公私格差の是正や雇用環境の安定化が図られ、人材の確保に貢献し、質の高い教育が提供されていること。③経営資金等の貸付や研修事業等を幅広く実施することにより、公教育の一翼を担う私学教育の水準の維持に貢献していること。④公益法人改革の流れの中で、引き続き群馬県内における私立学校教育の充実及び振興を図るとともに、群馬県民の修学機会を確保するための支援を行い、もって群馬県における教育文化の高揚に資することを目的としていくこと。等を公益目的理由に掲げ申請しましたが、各都道府県が所管する私学関係団体では、東京都私学財団の次に公益財団法人に移行できたことは、これらの主張が認められたことでもあり、役員はじめ会員皆様の社団法人群馬県私学厚生協会設立以来の私学教育にかける思いが実ったものと、関係各位に敬意と感謝を申し上げる次第です。会員の皆様には研究会、関係委員会及び理事・評議員会等を通じ、ご支援ご協力を頂きましたことに感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。



公益財団法人群馬県私学振興会役員の皆様

役員名簿

【平成24年5月28日現在】

役職名	氏名	学校法人等役職名
顧問	星野 幸一	樹徳高等学校校長
理事長	森本 純生	高崎商科大学理事長
副理事長	須藤 賢一	高崎健康福祉大学理事長
〃	野口 秀樹	明照学園理事長
〃	原 徳明	満勝寺学園理事長
〃	中島 利郎	有坂中央学園理事長
理事	鈴木 利定	昌賢学園理事長
〃	関崎 悦子	桐丘学園理事長
〃	中村 義寛	群馬育英学園理事長
〃	松本 兼太郎	東京農業大学第二高等学校校長
〃	小林 一博	森本学園理事長
〃	柳 晋	柳学園理事長
〃	権頭 俊澄	恵光学園理事長
〃	山田 佳栄子	門屋学園理事長
〃	小倉 基義	小倉学園理事長
〃	鈴木 良幸	鈴木服飾学園理事長
〃	遠山 巍	山崎学園理事長
常務理事	金井 可佐夫	群馬県私学振興会事務局長
監事	小和瀬 たかみ	高崎健康福祉大学附属幼稚園園長
〃	小暮 俊子	白ゆりファッション専門学校校長
〃	高村 利久	おりひめ法律事務所
評議員	渕上 勇次郎	高崎商科大学学長
〃	跡部 洋一	共愛学園理事長
〃	櫻井 直紀	明和学園短期大学学長
〃	澁谷 朋子	学文館理事長
〃	大川 義	共愛学園中学校・高等学校校長
〃	根岸 弘	関東学園大学附属高等学校校長
〃	市川 平治	新島学園中学校・高等学校校長
〃	高山 幸索	常磐高等学校校長
〃	蜂須賀 和夫	国分寺学園理事長
〃	金子 仁	木の実幼稚園園長
〃	森下 幸夫	金山幼稚園副園長
〃	福島 秀起	ぐんま幼稚園園長
〃	榎本 義法	七日市幼稚園園長
〃	林 治稔	若葉幼稚園理事長
〃	北沢 俊春	有坂中央学園専務理事
〃	佐俣 俊彦	東日本製菓技術専門学校校長
〃	寺尾 球司	国際科学技術学院理事長
〃	梁島 愛子	さわらび服装専門学校校長
〃	星野 貴	HAC国際学園理事長

広報委員名簿

委員長	副委員長	委員
鈴木良幸	柳 晋	中村 義寛・松本兼太郎

諸規約整備委員名簿

委員長	副委員長	委員
野口 秀樹	遠山 巍	関崎 悦子・原 徳明

退職事業推進専門委員名簿

委員長	副委員長	委員
中島 利郎	鈴木 利定	須藤 賢一・野口 秀樹・松本兼太郎 権頭 俊澄・山田佳栄子・小倉 基義

新公益法人制度合同研究会委員名簿

委員長	副委員長	委員
須藤 賢一	野口 秀樹	寺尾 球司・小林 一博・中島 利郎 澁谷 朋子・大川 義・榎本 義法

資金運用委員名簿

委員長	副委員長	委員
原 徳明	須藤 賢一	跡部 洋一・市川 平治・中島 利郎

県人事異動

長い間ありがとうございました。

転出（新所属）

内田 善規（総務部 総務課 企画予算係）
関 貴史（健康福祉部 東部児童相談所 虐待対応係）
藤原奈津紀（県土整備部 河川課 工事事務係）

これからよろしくお祈いします。

転入（旧所属）

岡庭 博隆（産業経済部 商政課 金融係）
飯塚 佑介（吾妻県民局 吾妻環境森林事務所 総務環境係）
坂 菜奈絵（新規採用）

受賞おめでとうございます

（表彰受賞者）

瑞宝双光章

学校法人光明学園 すみよし幼稚園
元園長 柳澤 孝雄

藍綬褒章

学校法人小倉学園 理事長 小倉 基義

藍綬褒章

学校法人明照学園 理事長 野口 秀樹

県総合表彰

学校法人高崎商科大学 高崎商科大学佐藤幼稚園
園長 中村 登美子

全国私学振興会連合会 功労者表彰

学校法人高崎商科大学 理事長 森本 純生

表紙について

第42回北関東信越ブロック大会が平成23年8月29日～30日の2日間に渡り渋川市伊香保町にて開催された。

群馬県知事、渋川市長始め県内外より来賓、講師を招き、専修学校各種学校関係者150名が「新職業教育と専修・各種学校の展望」をテーマに大会に臨み、国及び県等の行政機関に対して、これまでの各種支援等の継続拡大を基盤に、「①新しい職業教育体系の構築、②公的助成金及び地方交付税の拡大、③雇用対策・人材育成の一層の展開を図るため、専修学校各種学校との積極的な連携の推進」を要望。大会決議とし閉幕した。（委員長 鈴木良幸）



編集 後記

群馬県私学振興会は私立の幼稚園、中学校、高等学校、大学、専修各種学校すべての学種を会員校とし、全国で2番目に公益財団法人として認定された私学団体となりました。広報誌「私学ぐんま」も会員皆様のコミュニケーションの場として充実したものにしていきたいと思ひます。ぜひ情報をお寄せください。

（委員 中村 義寛）

平成24年6月発行

公益財団法人 群馬県私学振興会

理事長 森本純生

広報委員会

鈴木良幸・柳 晋・中村義寛・松本兼太郎

〒371-0854

前橋市大渡町1丁目10番7号

群馬県公社総合ビル6階 私学センター内

TEL 027(255)6851（振興会）

027(280)6207（退職資金事業部）

FAX 027(280)6208

URL <http://www.shigaku-gunma.or.jp>